生物学的基準範囲および臨床判断値

部署：　血液学検査

No.	項目名	生物学的基準範囲，臨床判断値	根拠 ※ガイドライン，試薬添付文書，臨床との合意等	検査結果に重大な 影響を与える要因	変更内容と変更の根拠	備考
1	WBC	3.3×10^3 ～ 8.6×10^3/μL	JCCLS共用基準範囲	運動、喫煙により増加、立位＞臥位		
2	NEUT%（機械値）	39.8 ～ 70.5 %	シスメックス株式会社資料	運動、喫煙により増加、立位＞臥位		
3	NEUT#（機械値）	2000 ～ 7500 /μL	検査血液学会：スタンダード検査血液学第3版	運動、喫煙により増加、立位＞臥位		
4	LYMPH%（機械値）	16.5 ～ 49.5 %	血液形態検査における標準化の普及に向けて	運動で上昇		
5	LYMPH#（機械値）	1500 ～ 4000 /μL	検査血液学会：スタンダード検査血液学第3版	運動で上昇		
6	MONO%（機械値）	2.0 ～ 10.0 %	血液形態検査における標準化の普及に向けて			
7	EO%（機械値）	0.0 ～ 8.5 %	血液形態検査における標準化の普及に向けて	運動で上昇		
8	BASO%（機械値）	0.0 ～ 2.5 %	血液形態検査における標準化の普及に向けて			
9	RBC	男性：435×10^4 ～ 555×10^4/μL 女性：386×10^4 ～ 492×10^4/μL	JCCLS共用基準範囲	立位＞臥位　加齢で低下　喫煙で増加		
10	MCV	83.6 ～ 98.2 fL	JCCLS共用基準範囲	喫煙で上昇		
11	MCH	27.5 ～ 33.2 pg	JCCLS共用基準範囲	喫煙で上昇		
12	MCHC	31.7 ～ 35.3 g/dL	JCCLS共用基準範囲			

13	Hb	男性：13.7 ～ 16.8 g/dL 女性：11.6 ～ 14.8 g/dL	JCCLS共用基準範囲	立位＞臥位　加齢で低下　喫煙で増加		
14	Ht	男性： 40.7 ～ 50.1 % 女性： 35.1 ～ 44.4 %	JCCLS共用基準範囲	立位＞臥位　加齢で低下　喫煙で増加		
15	PLT	15.8×10^4 ～ 34.8×10^4/μL	JCCLS共用基準範囲	立位＞臥位　運動で増加　加齢で低下		
16	RET%	0.5～2.5 %	臨床検査法提要改訂第35版		基準範囲:0.8 ～ 2.2 %→0.5～2.5% 根拠:臨床検査法提要改訂第34版→臨床検査法提要改訂第35版	
17	RET#	5.0×10^4 ～ 10.0×10^4/μL	臨床検査法提要改訂第35版		基準範囲:4.0×10^4 ～ 8.0×10^4/μL→5.0×10^4 ～ 10.0×10^4/μL 根拠:臨床検査法提要改訂第34版→臨床検査法提要改訂第35版	
18	PT活性	70 ～ 130 %	プロトロンビン時間キット　トロンボレルS添付文書			
19	APTT	24.0 ～ 39.0 秒	コアグピアⓇ APTT-N添付文書		基準範囲:24.0 ～ 38.0 秒→24.0 ～ 39.0 秒 根拠:当院基準範囲（導入時検討）→コアグピアⓇ APTT-N添付文書	
20	Fbg	200 ～ 400 mg/dL	コアグピアFbg添付文書			
21	ATIII	80 ～ 130 %	テストチームS ATIII添付文書			
22	FDP	5.0 μg/mL未満	ナノピアP-FDP添付文書			
23	Dダイマー	1.0 μg/mL 以下	ナノピアDダイマー添付文書			

24	SFMC	7.0 μg/mL未満	ナノピアSF添付文書			
25	NEUT%（機械値）	39.8 ～ 70.5 %	シスメックス株式会社資料	運動、喫煙により増加、立位＞臥位		
26	NEUT#（機械値）	2000 ～ 7500 /μL	検査血液学会：スタンダード検査血液学第3版	運動、喫煙により増加、立位＞臥位		
27	Band%（目視）	0.5 ～ 6.5 %	血液形態検査における標準化の普及に向けて			
28	Seg%（目視）	38.0 ～ 74.0 %	血液形態検査における標準化の普及に向けて			
29	LYMPH%（目視）	16.5 ～ 49.5 %	血液形態検査における標準化の普及に向けて	運動で上昇		
30	LYMPH#（目視）	1500 ～ 4000 /μL	検査血液学会：スタンダード検査血液学第3版	運動で上昇		
31	MONO%（目視）	2.0 ～ 10.0 %	血液形態検査における標準化の普及に向けて			
32	EO%（目視）	0.0 ～ 8.5 %	血液形態検査における標準化の普及に向けて	運動で上昇		
33	BASO%（目視）	0.0 ～ 2.5 %	血液形態検査における標準化の普及に向けて			
34	有核細胞数	10×10^4 ～ 25×10^4/μL	臨床検査法提要改訂第35版			
35	骨髄巨核球数	50 /μL ～ 150 /μL	臨床検査法提要改訂第35版			
36	M/E ratio	1.1 ～ 3.5	臨床検査法提要改訂第35版			
37	髄液細胞数	0 ～ 5 / μL	臨床検査法提要改訂第35版			
38	関節液細胞数	細胞数：13 ～ 180 / μL （参考基準値）	一般検査領域における　穿刺液細胞アトラス			検査部のみの参考基準値
39	赤沈	成人男性　2 ～ 10 mm 成人女性　3 ～ 15 mm	臨床検査法提要改訂第35版			
40	出血時間	1.0 分 ～ 3.0 分	臨床検査法提要改訂第34版			

41	血小板粘着能	30.0 ～ 70.0 %	臨床検査法提要改訂第35版			
42	血小板凝集能	ADP 1.0 μM 最大凝集率:18.3～51.1 % ADP 3.0 μM 最大凝集率:45.0～99.1 % コラーゲン 0.5 μg/mL 最大凝集率:0.0～45.0 % コラーゲン 2.0 μg/mL 最大凝集率34.3～100.0 %	当院で定めた基準範囲			※ISO取得前の為、記録無し
43	血小板容積	9.0～12.3 fL	XEシリーズ資料			※ISO取得前の為、記録無し
44	RDW-CV	11.6～14.0 %	臨床検査法提要改訂第35版			
45	幼若血小板	0.6～4.1 %	当院における幼若血小板比率 IPF%の使用経験			
46	NAP染色	NAP-RATE：90.8～98.8 % NAP-SCORE：248.4～305.5	当院で定めた基準範囲			※ISO取得前の為、記録無し

47	赤血球浸透圧抵抗試験	NaCl-溶血度 0.85%-0 0.75%-0 0.70%-0 0.65%-0 0.60%-0 0.55%-0 0.50%-0～6 0.45%-5～45 0.40%-50～95 0.35%-90～99 0.30%- 97～100 0.20%-100 0.10%-100	臨床検査法提要改訂第35版			